

外国人材の活用について

平成 28 年 8 月 3 日～4 日に開催された第 13 回九州地域戦略会議 夏季セミナーにおいて、少子高齢化・人口減少に伴う人手不足や企業・団体のグローバル化に対応するための外国人材の活用をテーマに議論した結果、九州が一体となった外国人材活用の必要性が確認され、九州経済連合会と大分県を中心とした、外国人材の活用検討チーム（以下、「検討チーム」という。）の立ち上げが示された。

よって、下記により、現在外国人材活用の障壁となっている規制の緩和や、外国人の起業を支援する仕組みづくりなど、留学生をはじめとする外国人材の活用について、オール九州で具体的に検討していく。

記

1. 検討チームの構成

【企業等】

- ・九州経済連合会
- ・外国人材の活用を推進する九州・山口地域の企業

【大学】

- ・外国人材の活用を推進する九州・山口地域の大学

【自治体】

- ・大分県等 外国人材の活用を推進する九州・山口地域の自治体

2. 検討事項

- ・規制の緩和等に関する具体案の検討（起業に必要な経営管理ビザの取得要件、アルバイトの労働時間の上限規制 など）
- ・投資意欲のある経営者のネットワーク構築による起業を支援する仕組みづくり
- ・インターンシップ事例紹介などによる中小企業へのインターンシップ導入促進 など

3. 検討の進め方（案）

- ・9月6日実施の九州・沖縄地方産業競争力協議会にて、検討チームの設置を報告し、関係する企業・自治体等にチームへの参加を要請
- ・10月25日実施の九州地域戦略会議にて、検討チームの設置及び進捗状況を報告
- ・外国人材の活用に関する規制緩和の要望や施策等について、九州地域戦略会議及び九州・沖縄地方産業競争力協議会等と連携して検討・実施

以上